



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

95.7.21 No. 4227

95夏季物販ラストパートへ

高揚する物販闘争の意義!

九五年夏季物販闘争も最後の
大詰めの時期に入っています。
夏季目標額六〇〇〇万円の達
成に向けて、全組合員の今一歩
最後の奮闘をお願いするもの
です。

そして組合員目標二万円の貫
徹を要請するものです。職場で、
地域で、今一度、「解雇撤回闘
争を闘う、動労千葉の夏季物販
に協力を！」を合言葉にしよう
ではありませんか!

本日掲載するのは、五月連休
明けから、連日西へ東へと、「
全国オルグ」に奔走し、「大失
業時代に抗する労働運動」の一
翼を担い、それを具現化する勢
力の共感を呼び起こしている協

感慨深い物販闘争十年の軌跡!

動労千葉の物販闘争も十年目
の節目の年を迎えました。

振り返ってみると、「生みの
苦しみ」とも言えた初期の苦難
を思い起こし、「二倍化」以降
の新しい労組からの注文に、「
新たな意気込み」を吹きこまれ
と、感慨深いものがあります。

この間、物販闘争を支えてい
ただいた全国の支援者の方々に
は、直接に、あるいは電話で、
または手紙などを通して、数々
の教訓・励ましを受けてきまし
た。そのひとつひとつが協販部
の血となり肉となっています。
さらにその骨格なしている闘
いの進展は、解雇者とJR本体
の闘いを結合してきたからに他

販部に届いた、「激励の手紙」
の一部です。

ソウルフルな闘いを鍛えよう!

解雇撤回、分割・民営化体制
打倒の闘いの進展と、限らない
労働者のエネルギーを沸き起こ
すものこそ、動労千葉協販部と
各支部から撃って出た、「全国
物販オルグ」の成果なのです。
文面のはしはしからにしみ出
ている、「期待」、「希望」、
「曙光」、この中にこそ、労働
運動のルネッサンスへと向けた
「ほとばしる情熱」を実感でき
ます。

弾けるがごとく飛翔する闘い
を巻き起こす、物販闘争の高揚
する意義を導きだしているもの

なりません。全組合員の奮闘こ
そが、協販部を奮い起たせてき
た闘いのビタミン剤なのです。

何よりも解雇撤回闘争を闘う
動労千葉の運動が、今日の「大
失業時代」の到来という中で、
「連合」路線を食い破り、労働
運動の新たな潮流をつくってい
くうえの、「大いなる武器」と
なっていることを、この間の全
国オルグでヒシヒシと実感して
います。

物販闘争は打てば響く闘いで
す。

協販部一同、今後もその期待
に応えるべく、夏季物販のラス
トパートへ向けてハチマキを
巻き直して頑張ります。

動労千葉協販部

全国からの激励の手紙 (一部ご紹介)

それは物販闘争を自らの闘い
として捉え、物心両面から動労
千葉を支えてくれている労働者

の魂です。
ソウルフルな闘いを鍛えよう
―夏季物販目標を貫徹しよう!

現役・OBが一体をなす!
結成一六年を迎えられ、
に御苦労様でございます。
いっしょですばらしい品を、
有り難く思っております。安く
うすうすしい梅雨、そして夏
身体を大切に頑張ってください。
(元新小岩支部、細田氏)

「闘いは若い苗木を育てる」
労働者のために共に信頼して闘う労働組合
が本場に少なくなっている現在、動労千葉の
存在が一層輝きを増して、組合の本来の意義
を教えているようです。
「闘いは若い苗木を育てる」と信じ、苦し
くとも、次の世代へ、まともな労働者をきた
える試練として頑張ってください。
十数年、田舎の地区労の事務局長としてや
つてきて振り返れば、今の社会党、連合路線
には期待も、みる蔭もありません。
貴労組のような粘り強い闘いを、片田舎か
ら心からの拍手で応援しております。

オルグを今後の闘いにつなげていく!
先日は、お忙しいところをお越し下さいま
して本当にありがとうございました。
白井さんのお人柄、あたりの柔らかさなど、
どこもオルグは大成功でたいへん感謝してい
ます。これを今後につなげて生かしていきますか
どうかはわれわれの闘いにかかっています。あ
ら、必ず「期待」に応えられるものをつくりま
す。今後ともよろしくお願いたします。